

平成26年（2014）3月3日～5日

平成25年度（2013）

第5回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表

平成25年度（2013）第5回出雲市議会（定例会）一般質問通告一覧表 目次

3月3日（月） 10:00 開会			3月4日（火） 10:00 開会			3月5日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	山代裕始	1	1	飯塚俊之	5	1	松村豪人	9～10
2	岸道三	1	2	小村吉一	5～6	2	萬代輝正	10
3	福島孝雄	2	3	板倉明弘	6	3	寺本淳一	10～11
4	遠藤力一	3	4	原正雄	6～7	4	珍部全吾	11
5	保科孝充	3～4	5	大国陽介	7～8	5	伊藤繁満	12
6	大谷良治	4～5	6	神門至	9	6	板倉一郎	13

平成25年度（2013）第5回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	28	山代裕始	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 就学前児童の子育て支援について	① 保育所の待機児童解消に向けた市の方針 ア 保育所における待機児童の数と定員について イ 市の入所審査における優先順位について ウ 保育所入所児童の入所要件が満たさなくなった場合の対応 エ 待機児童がゼロになるための対策について ② 第3子以降保育料無料化を含む保育料軽減についての市の考え方	市長				
2. 市民の歌・町民の歌の取り扱いについて	① 合併前の各自治体には、市民歌・町民歌が歌われてきたが、合併協議会においてどのような議論があり、どのような結果になったのか。 ② 出雲讃歌一天地（あめつち）のるつぼ、愛しきわが出雲はどのような位置付けになるのか。	市長				
3. 幹線道路の愛称を今後どのように取り組み、考えるのか。	① 新出雲市での考え方	市長				

質問者	2	岸道三	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 臨時・非常勤職員の処遇改善について	① 現在の臨時・非常勤職員の配置状況 ② 継続的・基幹的な業務に携わっている臨時職員の職種及び人数 ③ 臨時・非常勤職員の処遇改善の考え方 ④ 臨時職員における雇用期間の上限撤廃の考え方	市長				
2. 行財政改革について	① 行財政改革大綱素案におけるパブリックコメントでの主な意見と修正点 ② 法定外目的税について ③ 事務事業の見直しにおけるこれまでの成果を踏まえた今後の対応方針、取り組み方 ④ 財政計画のローリングの視点と実施する時期	市長				

質問者	7 福島孝雄	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 地域営農ビジョンの取 り組みについて	<p>① 出雲市における農地集積目標達成に向けての取り組みについて</p> <p>ア 県に設立される「農地中間管理機構」と現行の「農地利用集積円滑化団体」との関係・役割を伺う。</p> <p>イ 政府目標、10年後に8割の集積に対しての市の取り組みを伺う。</p> <p>ウ 新設される「地域集積協力金」の「地域」の捉え方と、交付金の使い方の基準を伺う。</p> <p>② 日本型直接支払制度の取り組みについて</p> <p>ア 多面的機能支払交付金の「農地維持支払」において、多面的機能を支える共同活動を支援するとあるが、具体的な交付金支払いの仕組みを伺う。</p> <p>イ 「中山間地域直接支払区域」以外の中山間地域圃場でも平地圃場と比べると畦畔面積にかなりの違いがあるが、出雲市として「農地維持支払」と合わせての支援策を伺う。</p> <p>ウ 現行の「農地・水保全管理」との違い、及びメリットを伺う。</p> <p>③ 中山間地域の営農について</p> <p>ア 中山間地域での「水田フル活用ビジョン」の市としての取り組みを伺う。</p> <p>④ 飼料用米の取り組みについて</p> <p>ア 出雲市における平成26年産の「飼料用米」作付予定面積を伺う。</p> <p>イ 政府が示している最高10a/10万5千円の数量払に対し、出雲市としての見通しと、今後の取組みを伺う。</p>	市長			
2. 斐川町の「荒神谷青銅 器出土30周年記念事 業」について	<p>① 本年行われる、斐川町の「荒神谷青銅器出土30周年記念事業」について</p> <p>ア 昭和59年に358本の銅剣が発掘、翌年には銅鐸・銅矛が発掘され「国の重要文化財」に指定されました。出雲市にとって「古代出雲国」を語る上で大変に重要であり、おおいにアピール出来る内容であると思っておりますが見解を伺います。</p> <p>イ 荒神谷博物館において、4月以降「荒神谷青銅器出土30周年記念」イベントが、多数計画されていますが、今後県内外に向けての広報活動と、市としての意識向上が必要であると思っております。市として支援策があるのか伺います。</p> <p>ウ 荒神谷博物館での「実物青銅器」の展示が求められていますが、取り組みを伺います。</p> <p>エ 来年度、新規に「出雲シティセールス事業」が行われますが、今後地域の魅力あるスポットとして、荒神谷博物館及び史跡公園・中央工業団地から出土した道路遺構も「出雲シティセールス」の対象になると思っておりますが見解を伺います。</p>	市長			

質問者	18	遠藤力一
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 入居債務保証支援事業への取り組みについて	① 条例改正により市営住宅入居の条件緩和で、連帯保証人を一人にすることを高く評価します、そこに至る経過を伺う。 ② 「入居債務保証支援事業」の取り組みを、出雲市社会福祉協議会が始めるよう、市として関与ができないか。 ③ その際「入居債務保証」により公営住宅にも入居できるよう、入居条件を見直してはいかがか。	市長	
2. 24時間・年中無休電話健康医療相談について	① 24時間・年中無休 電話健康医療相談システムの導入について見解を伺う。	健康福祉部 部長	

質問者	12	保科孝充
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 県道斐川上島線整備計画の進捗状況等を聞く	① 平成25年度の予備設計調査についてその結果を伺う。 ② 平成26年度に詳細設計調査、平成27年度には一部用地買収の計画があるようだがその後どのような調査、工事計画が予定されているのか。 ③ 斐伊川に架橋している国道・県道の橋梁には整然と街灯が整備されており人・車の通行の安全に役割を果たしている。しかし県道斐川上島線の森坂大橋には橋の袂に小さく2ヶ所ついているだけであり、しかも斐川側は切れている。夜間は遠くから見ると橋梁存在そのものの確認できない。橋梁における街灯設置の基本的な設置指針があるのかどうか伺う。 ④ 森坂大橋移設の考え方はないのか。	市長	
2. 各コミュニティセンターの防災行政無線放送の有効活用と市民一体感の醸成について	① 全市に整備されつつある防災行政無線放送で出雲市民の歌「愛しきわが出雲」を定期的に放送して時間を知らせ、小中学生の安心安全と全市民の一体感醸成に努めていただきたい。 ア 各コミュニティセンターに設置されている防災行政無線放送の時刻放送等の有効活用状況を伺う。 イ 毎日のお昼、午後5時ごろの定時にコミュニティセンターの防災行政無線放送により出雲市民の歌「愛しきわが出雲」を放送し、小中学生はもとより市民の安心安全と一体感の醸成に努めていただきたい。	市長	

3. 小中学生のネットトラブル被害について	① 小中学生のネット被害は出雲市内においても増加傾向にあると聞いている。現状とその対策について伺う。 ア 小中学生のスマートフォン・携帯電話所有の状況 イ 学校への持込の状況 ウ 学校の指導と具体的な状況、今後の対策	市長	
4. 斐伊川の利水対策を伺う	① 斐伊川上流部では河床が年々下がり、今後特に農業用水の確保には大きな問題が発生するのではないかと考えるが抜本的な対策について伺う。 ア 感覚的に見て今後の状況をどのように考えているか イ 抜本的な対策として国・県・市の三者に協議の場があるのか ウ 放水路が完成したことにより斐伊川の上流部、下流部にそれぞれ河床・流砂の影響はあるのか エ 下阿宮の農業用水確保についての調査と対策 オ 出西の右岸頭首工の工事は農業用水必要時期に間に合うのか	市長	

質問者	1 大谷良治
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 地域交通対策・活性化を目指した施策について	① 公共交通対策について ア 地域バス交通の現状 イ 交通空白地域への取組み ウ 今後の課題 ② 交通政策基本法の制定に伴う地方公共団体の役割（責務）について 地域交通政策はまちづくりとセット。人口減少に伴い地方の公共交通を維持すべく条文の中には各地方公共団体が諸条件に応じた施策を策定実施する責務を有するとある。基本法が制定されたばかりであり地方での責務は明らかにされていない部分があるが自治体が主体的に考える必要があるが所見を伺う	総合政策 部長	
2. 改正道路交通法に伴う自転車交通安全対策について	① 自転車交通安全対策における今までの取組み ② 改正道路交通法について、自転車に関わる部分の内容と罰則 ③ 道交法改正の理解度は・利用者への周知について ④ 通行環境の整備促進について	総合政策 部長	

3. 青少年とインターネットの関係について	① 青少年のネット利用実態と依存度について (本市の青少年のネットの依存実態についてどのように把握しているのか) ② ネット依存を防ぐ取組みと依存傾向のある生徒への対応 ③ ネット犯罪を防止する本市の取組み ④ 情報モラル教育の推進について	教 育 長	
-----------------------	--	-------	--

質 問 者	13	飯 塚 俊 之
-------	----	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 平田小学校体育館の火災後の対応について	① 検討案 ② 今後のスケジュール	教 育 長	
2. 開校1年を迎える出雲市立向陽中学校について	① 学校の様子と課題(生徒、教職員、部活、通学路、環境など) ② 旭丘中学校の跡地利用	教 育 長	
3. 河下港の利活用策について	① 河下港の利活用策 ② 河下港で行われている艦艇広報の評価 ③ 河下港への「海上自衛隊」の誘致	市 長	

質 問 者	15	小 村 吉 一
-------	----	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 地域の小売商の存続と振興を求めて	① 近年地域の小売商の変貌と衰退は極めて著しい。そんな中、行政はその存在と役割について、どう把握し、今後をどのように展望し、その存続と振興を考えているのか伺う。 ・スーパー、コンビニ、チェーン店など地域外に経営母体を置く商店と地域の小売商との数の変遷や売り上げ高などについて触れながら ② 現在行われている中山間地域商業支援事業のような支援事業を市全域に拡大した「商店リニューアル助成制度」を実施すべきと考えるが、どうか伺う。	市 長	
2. 教育委員長に教育委員会制度と本市の教育の現状を伺う	① 任期終了を前にして、4年間に本市の教育について感じられたことを率直に述べられたい。 ② 教育委員会制度は、戦前の教育への強い反省から1948年「文部省や首長から独立する合議制執行機関」として発足した。今、この教育委員会制度について大きな転換が図られようとして、国民的議論が起ころつつある。本市の現在の教育委員会制度を含めてこの問題についての見解を伺う。	教育委員長	

	③ 本市もその例外ではないが、相次ぐ「学力テスト」の実施と評価制度は、学校を息づまるものにし、子どもたちの全面発達をゆがめつつあると私は考えている。今、学校教育に必要なことは「自主性と自由」だと考えるが、見解を伺う。		
--	--	--	--

質問者	25	板倉明弘
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 検討中の教育委員会制度改革に対する市長の所感	① 教育の政治的中立性についての見解を伺う。 ② 現行の教育委員会制度が形骸化しているといわれる問題点は何か伺う。 ③ 本市教育委員会は、学校教育に特化し社会教育は市長部局で補職する制度に対する評価を伺う。 ④ 教育委員会は存続させ、教育長と教育委員長を統合し、責任体制を明確にし首長権限を強化する改革案への所見を伺う。	市長	
2. 指定管理者制度に対する包括外部監査指摘事項及び監査意見	① 指定管理者制度導入について ② 選定手続き等の妥当性について ③ 協定内容の妥当性について ④ 指定管理料の算定方法の妥当性について ⑤ 指定管理者による管理運営と市のモニタリングについて	市長	

質問者	8	原正雄
-----	---	-----

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 神戸川再生について	① 昨年3月3日神戸川再生推進会議の総決起大会、及び300名を超えるデモ行進が行われた。その際出雲河川事務所で2万7000名余の署名を手渡されたが、市長はその住民の重みをどの様に受け止めているか、伺います。 ② 一昨年「神戸川の河川環境に関する専門委員会」が設置され、昨年1月30日第6回会議後提言が出されたと聴いているが、市長にも届いているのか伺います。 ③ 昨年3月29日に「神戸川の潮発電所水利用に関する調整会議」が開催され現在まで6回開かれています。島根県が主体となり出雲市、飯南町、美郷町の1市2町の長がそれぞれの立場で発言する形ですが、市長は中国電力、島根県に対しどのような意見を言われたのか伺	市長	

	<p>います。</p> <p>④ 出雲市としての意見をまとめ県に申し入れする時期に来ていると思いますが、議会にはどのような形をとられるのか、又、神戸川再生推進会議に対し説明した上で行われるのか伺います。</p> <p>⑤ 放水路が昨年9月、10月と2回に亘り放水され、その結果、神戸川下流各所で砂州が出来ております。神戸川本川のその物が流量不足である事の証しであります。これが河口閉塞にもつながり新内藤川の水位に影響します。内水対策ポンプ稼働の時間にも掛ります。従って、江の川への分水を止め神戸川に水を帰す事がまずやらねばならない事であります。</p> <p>神戸川の県管理区間を直轄区間とし、神戸川全体が直轄管理の川となり国が主体となって中国電力と対峙するのが良いと思います。7月の島根県への要望に当っては強くその意を出して頂きたいが伺います。また直接国へ要望する事も出来ますが、如何されますか伺います。</p>		
--	---	--	--

質問者	16 大 国 陽 介
-----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 原発の再稼働など論外。「即時ゼロ」こそ責任ある対応	<p>① 福島事故から間もなく3年が経とうとしているが、依然として多くの方が避難生活を余儀なくされ、元の生活に戻れる見通しも立っていない。福島の復興と事故の収束にむけ、全力で取り組むべきであると考え。しかし、このもとで、自民党安倍政権は原発を「重要なベースロード電源」などと位置づけ、原発の再稼働を進めようとしている。再稼働など論外であり、もう二度と原発を動かさないと決断し、廃炉に向けての一步を踏み出すことこそ、責任ある対応と考える。</p> <p>ア 福島事故から学んだことは、原発に絶対の安全などはあり得ず、「過酷事故は起こりうる」ということではないか。認識を伺う。</p> <p>イ 島根原発も2号機の新基準適合性確認審査申請が行われ、原子力規制庁において作業が進められているところであるが「世界最高水準」の新規制基準をクリアすれば、住民の生命と財産、暮らしを守ることができると思うか。認識を伺う。</p> <p>ウ 事故の際、放射能の影響を受けるすべての住民が安全に避難できるような計画は策定できたのか。避難計画の実効性を高める努力はするにしても、住民の健康に被害なく避難することが果たして可能なのか、市民の不安は大きい。現状と認識を伺う。</p> <p>エ 福島事故の全容解明もなされておらず、実効性ある避難計画もなく、安全協定すら締結されていない。原発の危険性を直視したとき、島根原発をはじめ、原発の再稼働など論外</p>	市長	

	<p>であるが、所見を伺う。</p> <p>オ 過酷事故を想像した場合、出雲はどうなるのか。生活していけるのか、産業はどうなるのか、仕事が続けられるのか、汚染された土地は元に戻るのかなど、不安は尽きない。原発の問題を「国まかせ」にするのではなく、市長は市民の暮らしに責任を負う自治体のトップとして、市民の立場で発言し、行動するべきと考えるが、所見を伺う。</p>		
<p>2. 負担増とサービス縮減の介護保険「見直し」に反対を</p>	<p>① 今の国会に提案されている介護保険の見直し案には重大な問題がある。要支援者の「訪問介護」と「通所介護」を介護保険サービスから外して市町村事業に移すことや特別養護老人ホームの入所対象を要介護3以上に制限すること、施設入所者への補足給付の縮小、これまで1割とされてきた利用料負担を一定所得以上の人を2割へ引き上げることなど、大幅な制度改変がねらわれている。</p> <p>ア 今回の制度改定についての介護サービス利用者の声、介護現場の声をどのように受けとめているのか伺う。</p> <p>イ 「高齢者の尊厳の保持」「国民の保健医療の向上及び福祉の増進」を目的とした介護保険制度の理念にも反する今回の見直しは、まさに「制度改悪」である。国に対し中止を求めるべきと考えるが、いかがか。</p> <p>ウ 要支援者向けの「訪問介護」「通所介護」を介護保険サービスから外し、市町村事業に移すことで、市町村の財政力によって自治体間に格差が生じる恐れがあると思うが、いかがか。</p> <p>エ 保険料は上昇を続け、今期は基準額5420円となっている。一方、保険料未納者に対しての差押え等も実施されている。低所得の高齢者に高い保険料を課すこと自体無理があると思うが、認識を伺う。また、次期介護保険料の見通しを示されたい。</p> <p>オ 保険料未納者への差押えは中止するとともに、保険料と利用料の一層の負担軽減を求めるが、いかがか。所見を伺う。</p> <p>カ 介護保険制度は、サービスを提供すればするほど保険料が値上げされるという構造的な矛盾を抱えており、これを打開するには国庫負担割合の引き上げで財源を確保することが不可欠であると思う。国に対して国庫負担割合を10%増やし、公費負担割合を当面60%にすることを要求すべきと考えるが、所見を伺う。</p>	<p>市 長</p>	

質問者	4	神 門 至	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
			1. 合併10周年を迎えての検証課題について	<p>① 合併時、新市基本計画が策定されるなど、これまで様々な総合計画のもと多岐にわたる引き継ぎ項目が推進されています。この間、どのように検証されてきたのか。また、旧2市5町での積み残された課題および、どのような合併効果が発揮されてきたのかお伺いします。</p> <p>② また、その検証結果について、どのように地元・地域のみなさんに周知されてきたのかお伺いします。</p> <p>③ 記念式典の考え方についてお伺いします。特に、全体的な予算、功労者表彰などの考え方についてお示し下さい。</p>	市長	
			2. 旧宍道邸の活用および整備の考え方について	<p>① 和文化交流センター（仮称）の実施設計の状況についてお伺いします。</p> <p>② これまで、地元・地域のみなさんとの間で、進入路道路などについての同意が得られているのかお伺いします。</p> <p>③ 今後の考え方（方向性）についてお伺いします。</p>	市長	
			3. みせん広場におけるホテル事業の考え方について	<p>① 現在、ホテル事業の提案について、どのように検討されてきたのかお伺いします。</p> <p>② 現在、利用されている「みせん広場（多目的広場）」の代替え地や、不足している駐車場確保について、どのように検討されているのかお伺いします。</p>	市長	

質問者	17	松 村 豪 人	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
			1. 人口減、厳しい財政状況下の地域課題の解決に、大学の協力を得て進めてほしい	<p>① 市長の新年度施政方針でも、人口減、超高齢社会、財政難にあって、地域コミュニティ活動の一層の活性化が不可欠と述べられており、認識を同じくしている。ついては、早期に具体策を立て進めてほしいと考える。</p> <p>本市では、島根大学と既に包括的連携協定を結んでいる。また、国としても地域のために課題解決に取り組む大学を支援する方針であり、島根大学、島根県立大学共に昨年度、文部科学省の地（知）の拠点事業に採択されたところである。</p> <p>ぜひ、本市でも多くの研究に取り組んでいただき、地域課題の解決に成果を期待している。</p> <p>ア 大学との連携についてどのような認識か。</p> <p>イ 本市での包括的連携協定の取り組み</p>	市長	

	ウ 周辺部での過疎化、高齢化は深刻であり、農林水産業の再生や、医療・介護の受け皿の整備が急がれる状況だが、市として今後大学との連携について具体的な構想があるか。 エ 大学の研究の受け入れ体制をどう進めるか。		
2. 漁港施設の老朽化対策の見直しは	① 国土強靱化基本法が可決し、国においては道路、橋りょう、トンネル等の維持補修、長寿命化を進めることとされているが、これは、東日本大震災を教訓とし、防災・減災を目的とするものである。 同じく防災の観点から、沿岸部では防波堤等の漁港施設が大きな役割を担っている。しかし、本市沿岸部においては、特に、市管理の第一種漁港の老朽化による機能低下から、漁業者からは不安の声が上がっている。 ア 市内漁港の整備年度、耐用年数。 イ 耐用年数が超過している漁港について整備計画はあるか。 ウ 財政難とは承知しているが、実態調査のうえ見通しを示すべきではないか。	市 長	

質問者	19	萬代輝正
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 学校施設の開放状況と経費負担のあり方について	① 教育施設における一般への開放状況並びに利用人数は。 ② 利用をされている団体や個人はどのような方々か。 ③ 維持管理に要する諸費用は、結果として誰が負担することになるか。	教育長	
2. 市内民間企業への活力が生まれる指定管理者制度の移行へ	① 包括外部監査での指摘を受け、早急に改善すべき問題点の認識は如何に。 ② 平成28年度へ向けた更新契約へのスケジュールを示されたい。	市 長	

質問者	5	寺本淳一
-----	---	------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 安全・安心のまちづくりについて	① 住宅に対する耐震化促進について。 ア これまでに具体的に市が行っていた住宅耐震化促進策を伺う。 イ 耐震化への現状と課題は何か。 ウ 政府の住宅耐震化率95%目標に対し市としての所見は。	市 長	

	<p>② 住宅用火災警報器設置状況について。</p> <p>ア 出雲市全体の住宅用火災警報器の設置率を伺う。</p> <p>イ 法改正前の既存住宅だけを対象にした設置率は。</p>		
2. 学校教育の充実について	<p>① 「確かな学力」の向上を図るための施策について伺う。</p> <p>ア 学力向上を推進する係を新設されるがどのような役割をもつのか。</p> <p>イ 市内各学校の優れた指導力を持つ教員により、学校訪問や研究会の実施により授業の質を高めるとあるが、その教員をどう確保していくのか。</p> <p>ウ 期待される効果と目標は。</p> <p>エ この施策の成果を今後どのように調査・分析され、「確かな学力」の向上に生かしていくのか。</p>	教育部長	

質問者	32	珍部全吾
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 斐伊川神戸川治水事業の今後	<p>① 治水事業が完了したとされ、放水路への放流が初めて行われた。9月、毎秒550トン、10月、毎秒200トンの放流により、9月だけで、27,000m³の砂が沈砂池に溜まった。10月の砂はほとんど下流へ流れている。又、合流地点で最大深さ2m、長さ200mにわたり、河床が、洗掘された。関係地域にとって大変な問題であるが市長の所信はどうか。</p>	市長	
2. 青少年の育成について	<p>① 国際交流 施政方針の中で青少年の海外派遣事業を行うとされているが、</p> <p>ア 具体的事業の内容、予算について。</p> <p>イ 韓国 巨済、金海、浦項との交流は。</p> <p>ウ 中国 漢中、アメリカ サンタクララについては。</p> <p>エ 長岡市長の具体的方針について</p> <p>② 若槻礼次郎と宍道邸について 大正、昭和2度首相を務めた若槻は、明治10年頃2年半を出雲で過ごし、大志を抱き上京し、総理までなった。</p> <p>ア 青少年にその歴史を伝えるべきではないか。</p> <p>イ 若槻ゆかりの建築物は宍道邸しかないが、記念館にでもする気はないか。</p>	市長	

質問者	11 伊藤 繁 満		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 次世代へ持続可能な活性化対策について伺います。	<p>① 古事記1300年、神話博の経済効果90億円。出雲大社平成の大遷宮経済効果約300億円、人・モノ・金が投入されてきた。当初予算は住民税収入マイナス52百万円、どのように評価しているか。</p> <p>② 税収確保（自主財源）は重要な課題であるが取組みの状況。</p> <p>③ 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口（H20・12月）の予測通り人口減少、高齢化が進行しつつある。有効な歯止め策は何か。</p> <p>④ 今春卒業予定者の就職見込み状況及び市内誘致企業の採用予定者数、又、雇用調整等による休業者数は県内2000人を超えると報じられているが市内の状況とその対策について。</p> <p>⑤ 斐川中央工業団地（仮称）へ進出する大企業を早く確保することが次世代への活力と定住促進となるが、1年余しかない中で猶予はないと考える。取組みの状況について。</p>	市長	
2. 新農業政策への取組みについて伺います。	<p>① 戸別所得補償制度の見直し（現、経営所得安定対策）により米の直接支払交付金がJA出雲管内で約164百万円・JA斐川管内で約1億円におよぶ農家所得の減少が発生し今後、市内の消費動向、税収にも影響が出始めて来ると考えているが、農家所得向上に向けた短期、中長期の対策が必要。新たな戦略をどのように打ち立てていくのか具体的な方針と対策。</p> <p>② 攻めの農業、競争力のある農業が国の目指す方向で有るがその中で農林水産物、食品の輸出額2020年に1兆円規模へ拡大する方向だが本市の海外展開への対応と方針について。</p> <p>③ 新農政は、TPP問題の行方とからみ大きく様変わりすると考えられるが担い手の確保、又農地の集積化促進、先端機械化導入等が急務である。又6次産業化促進も国の大きな柱であるがこの地域で大きな進展は無いように思う。出雲市の農政に何が克服すべき課題であるか。</p> <p>④ 老朽化しつつある土地改良施設を含め今後の農政に対応できる農業基盤の整備が必要と考えている。圃場が未整備のままの状態の所、パイプラインの劣化、水利施設の老朽化等、出雲平野の穀倉地帯の整備は人口減少、高齢化しつつある中で急がれる課題は何か。</p>	市長	

質問者	20	板倉 一郎
-----	----	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 観光振興について	<p>① 出雲大社への観光客を街なかに誘導する施策について伺う。 ア 出雲大社へ自家用車で来られた場合、街なかを通らずに山陰高速道出雲ICから直接出雲大社周辺へいかれた方が多く、出雲大社周辺以外には、思ったほど観光客がこなく経済効果が少なかったと認識している。そこで、交通渋滞緩和に合わせて、出雲大社以外に、観光客を誘導することが必要と考える。市の考えを伺う。 イ その他に、観光客を誘導する施策について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>② 出雲のお土産について、新たな商品開発について伺う。 ア 観光客および市内の方から、出雲にきたなら、これはというお菓子がなかなか思い浮かばず苦勞しているとの話を聞く。お菓子関係の業者のみなさんの協力のもと、統一した出雲のお菓子を企画・開発してはと考える。市の考えを伺う。</p> <p>③ 閑散期（冬季）対策について伺う。 ア 冬季において、山陽側に住む方は、ほとんどの方が冬用タイヤを持っていないため、自家用車による観光客は激減します。そこで、閑散期について、どのような対策を考えているのか伺う。 イ 閑散期には、市内および出雲市周辺の方に観光地を巡っていただくような企画をしてはと考えます。市の考えを伺います。</p> <p>④ 宿泊施設の誘致の状況を伺う。 ア 宿泊施設の誘致の状況を伺う。 イ 取り組み支援策は、どのように考えているのか伺う。</p>	市長	
2. 次期可燃ごみ処理施設について	<p>① 次期可燃ごみ処理施設の施設整備スケジュールおよび検討状況について伺う。</p> <p>② 建設候補地の絞り込みについて、どのような考え方でおこなうのか、また目途は、いつなのか伺う。</p> <p>③ 次期可燃ごみ処理施設は、どのような焼却方式を考えているのか伺う。あわせて、現在のごみ処理施設（出雲エネルギーセンター）については、どのような評価をしているのか伺う。また、次期可燃ごみ処理施設は、出雲市単独の処理施設となった場合は、どの程度の施設規模になるのか伺う。</p> <p>④ 他市において、生ごみを活用しバイオマス発電を実施しているところがある。出雲市では、導入する考えはないか伺う。</p>	市長	